



小山田 剛 士
(黎明親和会)

レストランペリカン東側交差点の 整備促進を

庁内の検討体制を構築する

問 レストランペリカン東側の交差点（下平東小稲線）の整備について、市の考えは。

答 7つの路線が交差し、高度な交通処理が求められるため整備が困難な状況となっていますが、稲生橋からレストランペリカンまでの市道下平2号線の整備検討と併せ、整備の基本構想策定に向け、関係機関と協議を進めていきます。

問 当該交差点の整備は、市民の関心も高いことから、課題解消に向けて動き出すための仕組みづくりを行う考えは。

答 これまで整備検討は土木課単体で行ってきましたが、専門的見地に加え、幅広い観点からの検討が必要なため、今後は庁内における体制を構築し、整備に向けた検討を進めていきたいと考えています。

問 将来的に歯科医師数が大きく減少し、歯科医療提供体制の維持が困難となることが危惧されるが、歯科医師数の推移は。

答 令和4年厚生労働省統計によると、青森県は人口10万人当たりの歯科医師数は55.9人と全国最少で、全国平均81.6人を大きく下回っています。上十三歯科医師会によると、当市の歯科医師数は10年前の27人をピークに減少し、令和7年11月末現在で、歯科医院17施設、歯科医師19人、人口10万人当たり33.3人となっています。

問 歯科医師数の減少について、市の認識や対策等の検討状況は。

答 明確な歯科医師必要数の指標はありませんが、今後、人口減少や高齢化、後継者不足が深刻化する可能性が高いことから、喫緊の課題と受け止め、地域医療ニーズの把握と分析を行い、上十三歯科医師会などの関係機関と連携して検討していきます。



笹 淵 峰 尚
(黎明親和会)

国スポ・障スポ大会 一体的に盛り上げるための取組は

幅広い主体が参加できる 取組を進める

問 青の煌めきあおもり国スポ・障スポのリハーサル大会で、高森山総合運動公園サッカー場天然芝の整備が課題となったが、改善策は。

答 補正予算として約6,380万円を計上し、現在の西洋芝から姫高麗芝への張り替えを行います。作業は令和8年5月頃から開始し、本大会までに整備を完了させる予定です。

問 市民や関係者が一体となって大会を盛り上げるための取組は。

答 おもてなしの取組として、競技会場にプランター等を設置する「花いっぱい運動」の実施など、幅広い主体が参加できる取組を進めます。

問 中心市街地のおもてなしの取組は。

答 アーケード柱へのラッピング装飾や横断幕の設置など、人通りの多い場所に装飾を施し、歓迎する雰囲気を効果的に醸成します。

問 昨今の資材費の高騰などを踏まえ、秋まつりの山車制作費補助金を改善する考えは。

答 財政上大幅な増額は難しい状況であり、自主財源を含めた収入の確保や、運行ルートや日程の縮減による支出の抑制など、まつり全体の在り方の見直しが必要と考えています。

問 3日間のまつり日程を1日縮減し2日間にするによって削減できる経費を、山車制作費補助に充てた場合の補助限度額は。

答 経費が単純に3分の2になると仮定すると、1団体あたり約10万円の上限額の引き上げが可能です。

問 山車運行の担い手が不足している現状について、市の認識と対応策は。

答 参加町内会の減少につながる深刻な課題と認識しており、参加団体等と活発な意見交換を通じて、その対策について検討していきます。